



2021.5

1. はじめに

保護者の皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。本年もコロナウイルスの影響により、PTA総会も文書でご連絡する形式となり、皆さまに直接ご挨拶する機会が無くなっておりますが、この通信を奇数月に掲載して参りますので、ご覧いただき、学校の状況や進学に関する最新情報などをキャッチしていただきたいと思います。また、ご意見等もお待ちしておりますので、ご一読の上、お知らせ下さい。

2. 令和3年3月卒業生の進路状況について

この春に卒業した3年生は、様々な困難に見舞われ、不安の多い学年でした。大学入試改革の影響で、初めての「共通テスト」の準備に追われ、記述式問題や英語外部検定試験などの入試改革が途中で変更になったりしました。また、コロナ禍により休校期間が3ヶ月にも及び、授業を受けられない不安な毎日を過ごしました。更に部活動の大会も中止が相次ぎ、最後の大会に臨めなかった生徒も多かったようです。

しかし、そんな環境下でも本校生は大変努力し、大きな成果を残して卒業していきました。国立大学合格者数が現役生徒だけで100名を超えたのは、ここ10数年では一度も無かったことであり、また、早慶大の合格者数も大きく伸びました。難関大学への合格者数もここ数年では最多となり、合格者のうち90%以上がその合格した大学に進学しています。つまり、自分の行きたい大学を受験し、しかも現役最多合格者数を数え、希望大学に進学できたという事になりました。

部活動加入率が高く、3年の引退時期まで熱心に活動し、最後は希望進路を実現するという、本校生の理想的な受験結果を残したと言えるでしょう。

一方では、最後まで悩み、失敗に耐えながらも努力を続け、3月まで受験して合格を勝ち取った努力の人達も見られました。仲間と共に励まし合い、最後まで戦う姿は、本当に素晴らしかったと思います。この結果を、後輩達もじかに見てきたはずですので、良い影響を受けて、奮起して欲しいと思います。

3. 活躍する先輩達

本校の卒業生には、大学進学後も真面目に努力し、大学側から表彰を受ける学生もおります。近年の例をご紹介しますと、本校にご連絡をいただいたケースのみでも、国立大学（旧1期校）で2名、公立大学で3名ほどがここ6年間に各大学の「学長賞」等の学部生最高賞を受賞し、表彰を受け、激励金等をいただいております。

このように、大学進学後も努力し、他の模範となる卒業生が存在することは、本校の誇るべき大切な一面であると思います。

また、直近の例ですが、令和3年度（本年）入試において、T大学合格者のうち、人文学類合格者の最高得点を本校生が叩き出し、大学等から賞賛されました。

4. 3年生この時期

まもなく6月を迎えます。3年生の進路指導にとって、とても大切な時期がやってきます。それは、進研マーク模試を受験し、その結果をもとに進学先を検討する時期がやってきたということに他なりません。6月マークは、他の模擬テストと違った意味を持ちます。①共通テスト本番もマーク方式であること、②この結果と本番の結果には強い相関関係があること、③2021年がちょうど半分終わっていること、など意味合いが他の模試とは違ってきます。

①については、9月・10月にも同様の形式の模試を実施しますので、チャレンジのチャンスはまだ多く残されています。②については、およそ78%の相関関係があり、6月マークの点数+100点を大学合格のボーダーラインと照合し、受験する大学を絞り込む際の重要なデータとなります。もちろんこの結果がすべてでは無く、例外的に急成長したり、逆に伸びを欠くケースもあり得ま

すが、データとしての重要性は大きいと言えます。③については、6ヶ月を過ぎ、次第に緊張感と焦りが出てくる時期ですが、部活動参加率の高い本校生は、この時期がスイッチを切り替える絶好の機会となります。学習計画を改め、これからのスパートを有効に行うための心の持ち方を準備して欲しい時期になります。

また、模擬テストは練習試合のようなものです。一つ一つの結果に一喜一憂すること無く、次の試合の準備をして欲しいと思います。「本番に勝つ」ための準備と捉えて、計画的に目標を定め、一つ一つの模試に取り組んで欲しいと思います。保護者の皆さまからも、心構え等についてご指導いただければ幸いです。

5. 2年生この時期

文理の選択に基づいてクラス替えが行われ、ようやく新クラスに馴染んできた頃かと思います。部活動でも中心的な役割を担い、責任ある行動が問われる瞬間が増えてきていることでしょう。

進路について、2年生に考えて欲しいことは①学部・学科を理解する、そして②テーマ研究を積極的に行う、ことです。①については、今のうちに学部の違いや同じ学部名でも大学によって研究内容が異なることを理解して欲しいと思います。オープンキャンパスがオンラインに変わってきておりますので、各自が検索しながら調べる必要があります。この理解が、これからの大学選びに重要な意味を持つようになりますので、主体的に深く学んで欲しいと思います。②については、各自がテーマを決め、先生方に指導していただく段階に入りました。中学生時代のように、単純に知りたいことを調べるのではなく、物事の本質に迫る「研究」に取り組んで欲しいと思います。近年は、受験の申し込みに当たり、「活動実績報告書」の提出を求める大学も増えておりますので、しっかり取り組むことが、将来的に自分の助けにもなります。

6. 1年生この時期

入学直後から、忙しい日々を送っていることと思います。また、高校生の生活に戸惑い、悩みも出てきているかも知れません。しかし、全国の高校生も同様の経験をしているはずです。悩むことも自分を成長させる一助と捉え、全力で取り組んで欲しいと思います。また、担任をはじめ、部活動の顧問などにも相談してみてください。

いよいよ中間テストが始まり、高校生の授業をどれ位理解しているかが問われます。本校生の誰もが優秀な成績で中学時代を過ごしたと思いますが、その生徒達が挑む「大学受験に向けた」難易度の問題が出題されますので、周到的な準備と努力が求められます。

友人との楽しい時間や部活動の充実した時間も高校の醍醐味ですが、進学を目指す本校生にとっては、勉強が必須要件です。学習に重点を置いた日常生活をご指導下さいますようお願い申し上げます。

7. おわりに

保護者の皆さまにお願いしたいことは、まず第1に、将来に向けてどんな過ごし方をすれば良いか、優先順位をどの様にすれば良いか、お子様と話し合う時間を持つて欲しいということです。

世の中の変化が激しく、進学も就職も一昔前に比べると大きく変化してきています。それに伴い、生徒達の気質も大きく変化していると感じます。これからの時代に向けて、何を重視するかは、ご家庭ごとに異なる場合もあるかと思います。是非、お子様と本気で向き合う時間を持つていただきたいと思います。よろしく願います。もう一つは、正確な情報収集を心がけていただきたいと思います。SNS等の発達により、誤った情報やニュースも多くなっています。信頼できる正確な情報収集を心がけ、ご参考になさってください。

最後になりますが、本校の進路指導部では、「進路」＝「今後の人生の生き方」と捉え、単なる受験合格ではなく、将来に向けた資質の向上、主体的に取り組むことのできる人材作りを目標として、指導しております。16歳から18歳という大切な青春の時間は、一生に一度きりの貴重な時間です。思い切り学び、良い経験を積み、仲間と競い合い、切磋琢磨できる素晴らしい時間を過ごして欲しいと願っております。

保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。また、ご不明な点や疑問点などございましたら、遠慮なくご相談下さい。

進路指導部